

### SecureSphereメンテナンスリリースとフィーチャーパックの差異に関する詳細情報

#### 概要

Impervaでは、SecureSphere v12から、SecureSphereの各メジャーリリースにおいて、2つの異なるリリースである「メンテナンスリリース」と「フィーチャーパック」の提供を開始します。メンテナンスリリースには、バグフィックス対応のみが含まれ、新機能や機能改善は含まれません。一方、フィーチャーパックには、バグフィックスと新機能、機能改善が含まれます。該当するバージョンのフィーチャーパックでリリースされた新機能や機能改善は、次のメジャーリリースに反映されます。

これによってお客様は、次回のメジャーリリースで新機能が取り込まれるのを待つ必要なく、新機能の導入が可能となります。但し、メジャーバージョンのアップグレードが行われるまで新機能の導入を望まないお客様、またはポリシー上できないお客様は、必要に応じてメンテナンスリリースだけを適用することができます。

#### キーポイント

- お客様は、SecureSphere v12以降、SecureSphereメンテナンスパックまたはSecureSphereフィーチャーパックを選択することで、当該バージョンをアップデートすることができます
- SecureSphereメンテナンスリリースでは、バグフィックスのみが提供されます
- SecureSphereフィーチャーパックには、メンテナンスリリースで提供される全てのバグフィックスに加え、新機能および機能改善が含まれています
- フィーチャーパックは、次のメジャーリリースが出る前に新しい機能を利用したいお客様、または利用する必要があるお客様向けに有効となります
- 次のメジャーリリースのアップグレードによって新機能が反映されるまで、新機能の導入を望まないお客様は、メンテナンスリリースを適用することができます
- SecureSphereフィーチャーパックは、SecureSphereリリースと同様のQAプロセスに従います

#### よくある質問 (FAQ)

##### ImpervaがSecureSphereのリリースにおいて、2つのリリースをサポートする理由は何ですか？

メジャーリリースを待たずに、新機能を利用したいと考えるお客様が存在します。その一方で、何らかの新機能を含むアップデートは、アップグレードと同じであるとみなす、厳しいポリシーを持つお客様も存在します。この場合には、アップデートを適用する前に、厳しい検収テストを実施しなければなりません。Impervaでは、メンテナンスリリースとフィーチャーパックの両方を提供することで、いずれのお客様の要件にも対応することができます。新機能を必要としないお客様は、メンテナンスリリースを適用して、バグフィックスを行うことができます。次期メジャーリリースで新機能が利用可能になるのを待たずに、新機能を利用したいと考えるお客様は、SecureSphere フィーチャーパックを適用することができます。

##### 一度「フィーチャーパック」を採用した場合でも、メンテナンスリリースに戻ることは可能ですか？

いいえ。該当リリースに一度フィーチャーパックを適用した場合、以降フィーチャーパックのみ適用が可能となり、該当するバージョンに対して、フィーチャーパックを適用することができなくなります。

### フィーチャーパックの安定性は、メンテナンスリリースより低いものですか？

フィーチャーパックは、Impervaリリースと同様のQAプロセスに従っており、フィーチャーパックに含まれる全ての機能は、Impervaのサポート対象です。しかし、フィーチャーパックの新機能は新しいものであるため、メンテナンスリリースに比べ、より多くのテスト項目が実施されています。

### フィーチャーパックにあるバグフィックス内容は、メンテナンスリリースと同じものですか？

はい。フィーチャーパックにあるバグフィックス内容は、メンテナンスリリースと全く同じものです。フィーチャーパックリリースには、新機能とバグフィックスの両方が含まれています。

### フィーチャーパックを適用したお客様が、メンテナンスリリースを適用しようとするとうなりますか？

SecureSphereでは、メンテナンスリリースの適用を許可しません。一度フィーチャーパックが適用された場合、メンテナンスリリースが適用できないようチェックする機能が、製品に組み込まれています。

### フィーチャーパックを適用したお客様が、システムをメジャーリリースの最初の状態に「ロールバック」させて、代わりにメンテナンスリリースを適用することは可能ですか？

いいえ。フィーチャーパックは内部のデータ構造に変更を加える場合があるため、ロールバックはサポートされません。バックアップからリストアすることも考えられますが、この場合、お客様は、重要な監査データやイベントデータを失うことになりかねません。

### お客様は、フィーチャーパックのコンポーネントと、メンテナンスリリースのコンポーネントを組み合わせ、複数のSecureSphereコンポーネント(例えば、ゲートウェイ、マネージメント、SOM など)として導入することはできますか？

MXおよびゲートウェイが接続するコンポートネットは、全てメンテナンスリリース、または全てフィーチャーパック上のものでなければなりません。Impervaは、異なるメンテナンスリリースおよびフィーチャーパック上のコンポーネント(例えば、MR1のゲートウェイ、MR2のMXなど)のサポートを今後も継続しますが、メンテナンスリリース上でのMXや、フィーチャーパック上でのゲートウェイ、あるいはその逆のケースをサポートすることはありません。

SOMは、フィーチャーパック上の一部のMX、およびメンテナンスリリース上のその他のMXなど、複数のMXをサポートします。

### Imperva SecureSphereエージェントにも、フィーチャーパックとメンテナンスリリースはありますか？

いいえ。ゲートウェイおよび管理に使用するエージェントは、メンテナンスリリースとフィーチャーパックいずれに対しても共通するものです。

### お客様がメンテナンスリリースを提供した場合でも、将来的にフィーチャーパックに移行することは可能ですか？

はい。メンテナンスリリースからフィーチャーパックに移行することは可能です。但し、フィーチャーパックからメンテナンスリリースへの移行は、次の両者の「融合点」となる、次期メジャー/マイナーリリースにアップグレードするまでは行えません。

### フィーチャーパックの新機能を望まない、あるいは必要としないお客様でも、フィーチャーパックを適用した方がよいのですか？

この場合、Impervaは、メンテナンスリリースの適用をお客様に推奨します。お客様は、フィーチャーパックにある新機能を使用したいと後日判断した場合、いつでもフィーチャーパックを適用することが可能です。

### SecureSphereフィーチャーパックは誰が受け取ることができますか？

フィーチャーパックには、別途ライセンスが必要な新機能と、SecureSphereとライセンスが分かれていない形での新機能追加が含まれている場合があります。有効なメンテナンス契約を持つSecureSphereのお客様であれば、別途ライセンスを必要としない新機能を利用することができます。フィーチャーパックで、別途ライセンスを必要とする新機能を提供する場合、その利用にあたっては、標準的なImperva購入プロセスに従ったライセンス購入が必要となります。

### お客様は、どうやってフィーチャーパックとメンテナンスリリースを受け取ることができますか？

リリース後、フィーチャーパックとメンテナンスリリースは、ImpervaのFTP/SFTPサイトからダウンロードすることができます。

### メンテナンスリリースとフィーチャーパックのリリース頻度は？

提供スケジュールは決まっていますが、メンテナンスリリースとフィーチャーパックを、四半期に一度の割合で同時にリリースする予定です。

### お客様は、どのようにフィーチャーパックとメンテナンスリリースの案内を受け取ることができますか？

現在のメンテナンスリリースにおけるEメールによるお客様への通知方法を踏襲し、フィーチャーパックに含まれる新機能に関する情報についても、そこでお知らせします。さらに、フィーチャーパックに含まれる新機能が際立ったものである場合には、お客様に別途（マーケティングコミュニケーションなどを經由して）その内容をお知らせします。

### 新しいメジャーバージョンがリリースされた後も、それ以前のリリースに対するフィーチャーパックは提供されますか？

Impervaがメジャーリリースを新しくリリースした後は、それ以前のリリースに対して新機能を追加することはありません。しかし、以前のバージョンのフィーチャーパックを利用中のお客様にバグフィックスを提供する目的で、引き続き当該リリースに対するフィーチャーパックのリリースを継続します。

## 株式会社 Imperva Japan

[www.imperva.jp](http://www.imperva.jp)

Mail: [FM-Japan@imperva.com](mailto:FM-Japan@imperva.com)

TEL: 03-6263-0671